

開かれた校則づくりを求める請願

党議員団 賛成討論を行い賛成 自民、公明など反対し不採択に

宇治市議会 12 月定例会に、中学 3 年生の湯浅さんが生徒に開かれた校則づくり求め、「市立中学校の校則のあり方についての請願」を提出。1 月 21 日の審査に当たって、文教・福祉常任委員会が参考人として湯浅さんを招致し、請願についての思いをお聞きし、参考人質疑、市教育委員会へ質疑を行いました。

採決に当たって、党委員が請願の賛成討論を行い、うじ未来委員が反対討論を行いました。採決の結果は党委員のみ賛成で不採択に。

また、1 月 29 日の本会議では、党議員団、無会派の佐々木議員が賛成討論を行い、自民党議員が反対討論を行いました。中学生の請願は、宇治では初めてです。採決では党議員 6 名と佐々木議員のみが賛成し、自民、公明、うじ未来(1 名欠席)などの反対多数で不採択となりました。

【請願項目】

- ① さまざまな立場の生徒も交えて学校のルールメイキングが出来る土壌を作ること
- ② 自己決定・自己判断のもと自主的に行動できる雰囲気をつくること
- ③ ルールをホームページに掲載し、ルール作成に至った経緯も含めて、いつでも確認できるようにすること

湯 浅 「あらゆる子どもたちの意見を聞いて、ルールづくりができるようになれば 参考人 ば社会全体が生きやすくなる」、「私の学校だけ変わっても意味がない」

文教・福祉委員会で、湯浅さんは「あらゆる子どもたちの意見を聞いて、ルールづくりができるようになれば社会全体が生きやすくなる」と考えをのべました。

参考人質疑で、自民党委員が「文部科学省の生徒指導提要に校則の見直しは、生徒会で議論するとある」との質問に、参考人は「私の学校だけ変わっても意味がない」と請願を提出した思いを説明しました。

質疑の一部

【党委員】請願項目にある「さまざまな立場の生徒」とはどんな生徒を想定？

【湯浅さん】文科省の「生徒指導提要」に、校則の制定にあたっては「少数派の意見も尊重しつつ」と書かれています。「様々な立場の生徒」とは、この「少数派」を含む生徒のことです。例えば、不登校の子、生徒会に関わるのが苦手なタイプの子などです。

【党委員】湯浅さんが通う学校に生徒手帳はありますか？ホームページに校則は掲載されていますか？

【湯浅さん】生徒手帳はありません。2年前になくなったそうです。ホームページに掲載されていません。

市教委への質疑から

【党委員】市内中学校で、校則のホームページ掲載状況は？

【市教委】中学校 10 校のうち、ホームページに掲載しているのは 2 校(1 月 21 日時点)

